

知っているようで 知らない 障害のこと

12月
3日～9日は
障害者週間

☎ 障害福祉課(1階、☎ 561-2363、FAX 561-2480)

私たちは、知っている・わかっているつもりでも、思い込みで間違った認識をしていることがあります。障害についても、無関心であったり、間違った理解をしていることがあるかもしれません。一人ひとりが正しく理解し、協力することが、障害のある人だけでなく、誰もが暮らしやすいまちにつながります。まずは声をかけ合い、人と人との関係をつくるのが最初のステップです。

100人に聞いてみました

Q.1 このマークを知っていますか？



はい・・・100%
いいえ・・・0%

Q.2 このマークの意味は？

- ① 車いすの人が利用できる施設・・・34人
- ② 身体障害のある人が利用できる施設・・・38人
- ③ 障害者手帳を持っている人が利用できる施設・・・0人
- ④ 障害のある人全てが利用できる施設・・・28人

正解は
④

回答した全ての人が知っている
と答えましたが、マークの意味を正しく理解できていた人はわずか3割でした。自分の思い込みで、誤った理解をしていることがあるかもしれません。

障害者のための国際シンボルマーク



障害のある人が利用できる建物や施設であることを表す、世界共通のシンボルマークです。障害のある人全てを対象にしており、車いす利用者や身体障害のある人に限定したものではありません。

他にもこんなマークがあります



※ 身体障害者標識
(身体障害者マーク)

肢体不自由のある人が運転する車に表示するマーク



※ 聴覚障害者標識
(聴覚障害者マーク)

聴覚障害のある人が運転する車に表示するマーク



盲人のための
国際シンボルマーク

視覚障害のある人の安全やバリアフリーに配慮した建物や設備などを表すマーク



ほじょ犬マーク

補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)を受け入れる施設に表示するマーク



耳マーク

聞こえが不自由な人と、聞こえない・聞こえにくい人への配慮を表すマーク



オストメイトマーク

人工の肛門や膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表すマーク



ハート・プラスマーク

身体内部に障害のある人を表す。外見ではわかりにくい、周囲の配慮が必要であることを知らせるマーク



ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病、妊娠初期の人など、周囲の配慮が必要なことを知らせるマーク

ユニバーサルデザインとバリアフリー

ユニバーサルデザインは、障害の有無や年齢、性別などに関わらず、全ての人に優しいデザインです。草津市は、全ての人が心も体も健やかに幸せを感じられるまちづくりをめざしています。一人ひとりがユニバーサルデザインを心がけることが、実現への近道です。

よく似たものに、バリアフリーがあります。両者とも誰もが自由に行動できるようにするという目的は同じですが、考え方に違いがあります。

● バリアフリー

生活の中で行動の妨げになるもの(バリア)を取り除いていくという考え方

● ユニバーサルデザイン

多様性を理解した上で、全ての人に配慮して計画することで、初めからバリアを作らないという考え方



困っている人を見かけたら わたしにもできること

物理的な障壁が無くても、誰しも迷ったり困ったりすることはあります。誰かが困っている様子を見かけたとき、誰にでもできることをまとめました。

声をかける

まずは「こんにちは」「どうかしましたか？」などの声かけが第一歩です。

何に困っているかを探る

どんな事情を抱えているかは、見た目だけではわかりません。「お手伝いできることはありますか?」など、会話をすることで、相手が必要な手助けが必要かわかります。

困ったら、周りの人に協力を頼みましょう

サポートの仕方がわからない場合や、自分だけで対応することが難しい場合は、周りの人に協力を頼みましょう。

こんな場合も・・・



視覚障害のある人が、白杖を頭上50cm程度に掲げている時はSOSのサイン。進んで声かけを。

※駅のホームや路上などで危険を察知したら、SOSを出していなくてもサポートしましょう

こころのユニバーサルデザイン

全ての構造物から段差をなくすなど、利用者のニーズに完璧に応えることは難しく、限界があります。物や施設などの物理的な整備をするだけでは、本当の意味でのユニバーサルデザインやバリアフリーは、実現しません。

ユニバーサルデザインにもバリアフリーにも共通するのは、誰もが障害を感じることなく、快適に過ごせるようにしようという心配りや思いやりの気持ちです。

身近なこころのユニバーサルデザイン

エレベーターで



階段やエスカレーターでは移動できない人がいます。エレベーターを必要としている人の利用を優先しましょう。

多目的トイレで



このトイレしか使えない人がいることを忘れずに。長時間の利用を避け、混んでいる時は順番をゆずりましょう。

まず、思いやりの心で、気づいたこと、できることから始めてみましょう。

※このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行うと罰せられます